

令和 7 年度 大阪市障がい者スポーツセンター事業報告書

施設概要

1 大阪市長居障がい者スポーツセンター

施設名	大阪市長居障がい者スポーツセンター
所在地	大阪市東住吉区長居公園 1－3 2
施設規模	敷地面積 13,273.93 m ² 延床面積 8,503.79 m ² (本館 7,456.12 m ² 別館 1,047.67 m ²)
主な施設	体育室、温水プール、トレーニング室、卓球室、ボウリング室、 小体育室、遊戯室、屋外プール、屋外運動場、会議室、研修室、相談室等

2 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

施設名	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
所在地	大阪市此花区北港白津 2－1－4 6
施設規模	敷地面積 18,120.85 m ² 延床面積 14,374.08 m ² (スポーツ施設 10,371.75 m ² 宿泊研修施設 4,002.33 m ²)
主な施設	【スポーツ施設】 アリーナ、温水プール、トレーニング室、卓球室、ボウリング室、 サブアリーナ、プレイルーム、多目的広場、会議室、図書室等 【宿泊研修施設】 宿泊室 (27 室)、大浴室、家族浴室、研修室、大広間、レストラン

指定管理者

団体名	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
主たる事務所の所在地	大阪市天王寺区東高津町 12 番 10 号 大阪市立社会福祉センター内
代表者	理事長 石田 易司
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
報告対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
担当者	有馬 伸一
連絡先	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 障がい者スポーツ振興部 大阪市長居障がい者スポーツセンター 総務課 TEL 06-6697-8681

目 次

1 指定管理業務の実施状況	1
(1) 管理運営方針	
(2) 職員の配置(職員体制)	
(ア) 効率的な人員配置と事業運営	
(イ) 専門的知識・資格を有する職員の配置	
(ウ) 体育施設の維持管理の資格を有する職員の配置	
(3) 職員研修(人権問題、安全管理、資格取得、施設管理、技能習得)	
(4) 個人情報保護・情報公開の取組	
(5) 苦情受付体制の取組	
(ア) 苦情受付システムの掲示	
(イ) ご意見箱の設置	
(6) 障がい者虐待防止への取組	
(7) 事故防止対策の取組(危機管理)	
(ア) 自然災害等の緊急時対応	
(イ) 火災訓練(避難訓練・防災訓練)等の実施	
(ウ) 安全管理(事故防止等安全対策)	
(エ) 衛生管理((感染症予防対策 他)	
(オ) 総合賠償責任保険・レクリエーション保険等への加入	
(カ) 緊急呼出し装置	
2 施設・設備の維持管理	8
(1) 定期点検(建築物及び設備等の保守点検)	
(ア) 長居障がい者スポーツセンター	
(イ) 舞洲障がい者スポーツセンター	
(2) 建物・設備の改修	
(3) 経費縮減に対する取組	
(4) 環境への取組	
3 利用状況	11
(1) 開館日数	
(2) 利用人数	
(3) 使用料・利用料	
(4) 利用状況(令和7年4月1日～令和8年3月31日)	
4 実施事業	13
(1) それぞれのニーズやレベルに応じたスポーツ・レクリエーションの提供	
(ア) スポーツ教室開催	

- (イ) スポーツ・レクリエーション事業、文化・交流事業の実施
- (ウ) スポーツクラブの育成と支援
- (エ) 出張スポーツ・レクリエーション事業
- (2) 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成
 - (ア) ボランティアの育成
 - (イ) 実習生の受け入れ
 - (ウ) 中級パラスポーツ認定校の学生を対象とした企画
- (3) 障がい者のスポーツに関する普及・啓発
 - (ア) 障がいの理解講座
 - (イ) SNS を活用した情報発信
 - (ウ) 小中学校における障がい者のスポーツ体験授業への職員派遣
- (4) 発達障がい者支援センター・職業リハビリテーションセンターとの連携
- (5) 各種相談の実施
- (6) 広報
- (7) その他の取組
 - (ア) 利用者アンケートの実施
 - (イ) 大阪市障がい者スポーツセンター運営委員会の開催
 - (ウ) 各種委員会活動
 - (エ) 経費縮減の取組
 - (オ) 感染症予防対策
 - (カ) 長居ラウンジ
 - (キ) 地域や他施設との連携、各種関連団体との協働

5 自主事業・・・・・・・・・・・・・・ 20

- (1) ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設機能強化事業の実施
- (2) 2026 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会(大阪カップ)の開催
- (3) レストラン、契約貸ロッカー及び自動販売機等の設置・管理運営
- (4) パラスポーツ備品貸出事業

6 収支決算状況・・・・・・・・・・・・・・ 21

- (1) 令和 7 年度 大阪市障がい者スポーツセンターの指定管理業務清算収支報告書
- (2) 令和 7 年度 大阪市障がい者スポーツセンターの指定管理業務清算収支報告内訳書

1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

大阪市障がい者スポーツセンター(以下「センター」という。)は、「障害者基本法」や「スポーツ基本法」などの関連法規、「大阪市障がい者支援計画」などの関連施策や設置条例などを尊重し、障がいのある誰もがその人らしく豊かで自立した生活を送ることができるように、「個人としての尊重」「社会参加の機会の確保」「地域での自立生活の推進」を実現することを念頭に、～ Sports for All ～「健康づくり・リハビリから、レクリエーション、競技スポーツまで、障がいのある誰もが、スポーツに親しめる環境の提供」を基本理念とし、次に掲げる基本方針に基づいて、多岐多様なサービスを提供しました。

管理運営にあたっては、すべての障がいのある人に対して「平等利用」と「公平なサービス」に努め、また、利用者に満足いただけるように努めました。

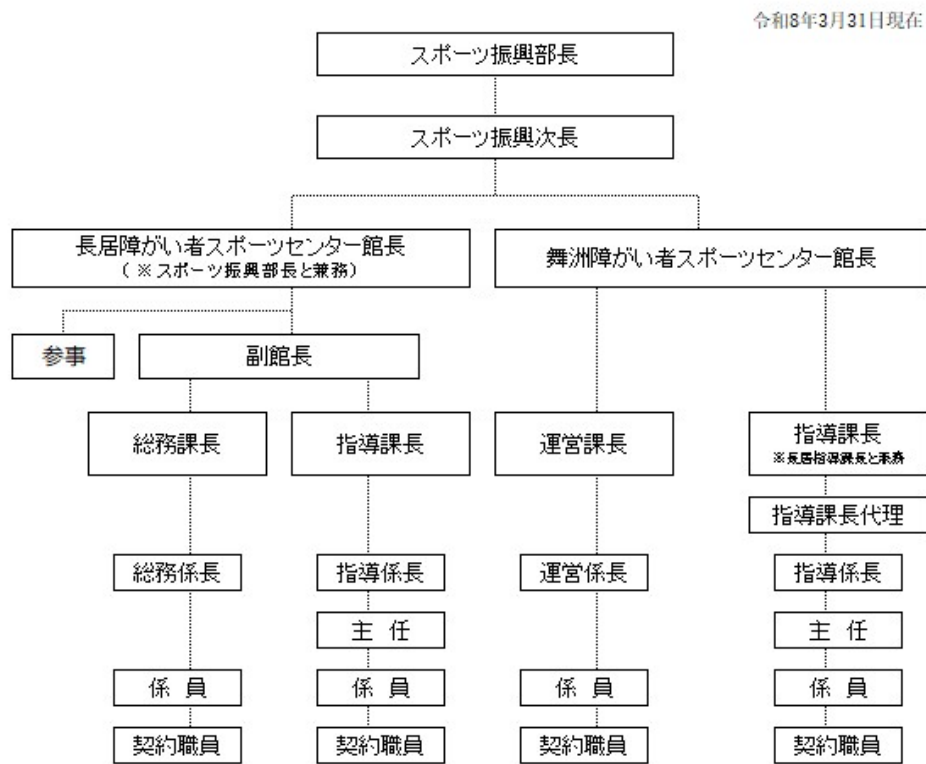
- ① 障がいのある誰もが、いつでも、一人で来ても、利用できる安全で安心な環境づくり
- ② 大阪市における障がい者のスポーツの拠点としての機能の発揮
- ③ それぞれのニーズやレベルに応じた、スポーツ・レクリエーションの提供
- ④ スポーツを通じた仲間づくり・社会参加の推進
- ⑤ 障がい者のスポーツ人口を増やすための、積極的な取り組みの推進
- ⑥ 安全・安心の確保と管理経費の縮減の両方を実現するための創意工夫

(2) 職員の配置(職員体制)

(ア) 効率的な人員配置と事業運営

長居障がい者スポーツセンター（以下「長居 SC」という。）と舞洲障がい者スポーツセンター（以下「舞洲 SC」という。）とスポーツ振興室を一体化させた「障がい者スポーツ振興部」として、『いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができるセンター』の体制を確立するとともに、両センター間で職員の派遣を行う等、協力してより効率的効果的な人員配置で事業運営に取り組みました。

■ 障がい者スポーツ振興部職員配置図



■ 職員数

令和8年3月31日現在

所属		部長 次長	館長 室長	副館長 参事	課長等	課長 代理	係長	主任	係員	正規 職員計	契約 職員	合計
スポーツ振興室			(1)				※1	(1)	(1) ※1	0	0	0
長居	総務課	1	(1)	2	1		1		2 (1)	7	1	8
	指導課				1		1	4 (注1)	6 (注1)	12	2	14
舞洲	運営課	1	1		1		1		3	7	1	8
	指導課				(1)	1	1	2	5	9	3	12
合 計		2	1	2	3	1	4	6	16	35	7	42

- ・ カッコ内の数字は、兼務者の人数
- ・ ※に付した数字は、業務代行料の対象とならない職員の数
- ・ 注に付した数字は、育児休業期間中の職員の人数（長居 SC 指導課 2 人）
- ・ 小計・合計欄の人数は、兼務者及び業務代行料の対象とならない職員を除いた人数

(イ) 専門的知識・資格を有する職員の配置

スポーツコーチ、パラスポーツ指導員(初級、中級、上級)、トレーニング指導士や理学療法士など、専門知識を有する職員を配置することにより、健康づくり・リハビリテーション・レクリエーション・競技スポーツなど、利用者のニーズや障がいの程度、スポーツの習熟度に応じたサポートを提供しました。

■ (公財)日本パラスポーツ協会公認 パラスポーツ指導員等

スポーツコーチ	3 人
上級パラスポーツ指導員	18 人
中級パラスポーツ指導員	9 人
初級パラスポーツ指導員	6 人

■ その他の主な資格

理学療法士	1 人
水泳指導管理士	2 人
トレーニング指導士	2 人
ミュージックケア指導者(ケアワーカー)	1 人
ミュージックケア指導者(初級)	2 人
手話技能検定 準2級	1 人

(ウ) 体育施設の維持管理の資格を有する職員の配置

施設の維持管理、緊急時対応、安全管理、衛生管理については、資格等を有する職員を中心に関係機関と連絡を密にし、適切な管理に努めました。

■ 施設管理

(公財)日本スポーツ施設協会 上級スポーツ施設管理士	3 人
(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設管理士	2 人
(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設運営士	2 人
(公財)日本プールアメンティ協会 プール施設管理士	3 人

■ 安全管理

甲種防火管理者	4 人
安全運転管理者	1 人
防災管理者	1 人
救急救命・応急手当普及員	3 人

■ 衛生管理

(公財)日本プールアメンティ協会 プール衛生管理者	4 人
---------------------------	-----

(3) 職員研修(人権問題、安全管理、資格取得、施設管理、技能習得)

職員としてふさわしい基本的な意識・知識・技術の向上を図るため職場内研修を実施した他、利用者に対して常にレベルの高いサービスが提供できるよう外部研修を行いました。

■ 職員研修実施状況

1. 人権研修

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
12/13	知ってる？合理的配慮	たかつガーデン	4 人
2/13～3/13	職場の人権の基本的理解（オンラインでの研修）	長居 SC 舞洲 SC	23 人 19 人

2. 安全管理

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
5/11～5/29	安全管理研修(職場内研修)	舞洲 SC	23 人
6/7	上級救命講習	大阪消防振興協会	1 人
9/9	教養型消防・防災訓練【WEB 配信】	大阪市消防局	23 人
9/17	安全運転管理者講習会	阿倍野区民センター	1 人
11/20～12/4	応急手当 WEB 講習(e ラーニング研修)	舞洲 SC	30 人
1/14	AED（自動体外式除細動器）講習	大阪市役所本庁舎	1 人
3/12	東住吉警察署テロ対策パートナーシップ協議会	大阪府東住吉警察署	1 人

3. 資格取得

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
7/11～7/15、 11/29～12/2	公認上級バラスポーツ指導員養成講習会	東京都多摩障害者スポーツセンター 東京都障害者総合スポーツセンター	1 人
7/25～27	令和 7 年度全国障害者スポーツ大会 障害区分判定研修会	青森県庁	1 人
1/10～12、17～18、 24～25	公認中級バラスポーツ指導員養成講習会	大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)	2 人

4. 施設管理・技能習得

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
5/19	接遇マナー・電話応対研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	2 人
5/30	第 1 回東住吉区生涯学習施設連絡会	長居パークセンター	1 人
6/12	ファシリテーション研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
7/1	バラスポーツ近畿ブロック協議会	京都テルサ 東館	1 人
9/4	2025 大阪・関西万博 スポーツ庁 Sports Futere Lab	2025 日本国際博覧会 EXPO メッセ 「WASSE」	1 人

9/17	宿泊施設講習会	西成区民センター	1人
10/31	東住吉区社会福祉施設連絡会研修会「よりよい職場環境づくりのために」	早川福祉会館	1人
10/31	令和7年度 飲料水衛生管理講習会(簡易専用水道)	中央区民センター	1人
11/8～9	日本障がい者体育・スポーツ研究会 日本リハビリテーションスポーツ学会	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	1人
11/20	本人の想いを引き出すインテーク面接力 (WEB配信)	長居 SC 舞洲 SC	5人 1人
11/20	相談支援従事者面接力技術力アップ研修 (WEB配信)	長居 SC 舞洲 SC	5人 1人
12/1、2	全国障がい者スポーツセンター連絡協議会 (講話、意見交換会、分科会出席)	長野市生涯学習センター	2人
12/22～23	令和7年度パラスポーツセンター職員スキルアップ研修会	長居 SC	1人
1/19	公衆浴場衛生管理者講習会	大阪市保健所	1人
1/20	衛生推進者講習会 (オンライン)	舞洲 SC	1人
2/6	パラスポーツ登録団体 合同会議 〃 合同会議 (オンライン)	ロイヤルパークホテル水天宮 舞洲 SC	1人 1人
3/13	令和7年度 大阪スポーツ施設研究協議会	Asue アリーナ	1人
3/20	地域から創る、日本のスポーツ医・科学支援 -スポーツ庁委託事業・最終年度成果発信シンポジウム-	オンライン開催	1人

(4) 個人情報保護・情報公開の取組

個人情報保護については、大阪市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例、当協会の個人情報保護規程・指針に基づく指定管理申請書の記載内容に則って取り扱いました。

情報公開については、大阪市情報公開条例、当協会の情報公開要綱に基づいて、第三者からの当協会・施設運営に関する情報公開要求に対して、個人情報を除き公開を原則として適切に対応できる体制を整えています。

個人情報保護に関しての具体的な取り組みは、以下のとおりです。

- ① 個人情報保護委員会・厚生労働省の「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」等に基づき、センターに「情報管理委員会」を設置し、マニュアルを整備しています。
- ② 個人利用申込書(申請書)、スポーツ教室申込書など、個人情報は施錠できるキャビネットでの集中管理を採り入れています。
- ③ 個人情報に関するデータの記録媒体は、管理ファイルを設けて、利用目的・保管場所を明確にし、管理しています。
- ④ スポーツ教室の申し込み等で個人情報を記載していただく場合は、目的以外は使用しない旨を明記し、その情報の守秘を常に心がけ管理しています。

- ⑤ 日々の個人使用許可書は裁断処理、個人使用申請書及び専用（団体）使用申請・許可書は溶解処理をしています。
- ⑥ 受付システムにおける個人情報の適切な管理のため、平成 27 年 7 月に「情報セキュリティ管理規程」を設けて以来、管理者、責任者、担当者に、「ID」を付与し、パスワードは 6 箇月ごとに変更するなど、情報のセキュリティ強化に努めており、ハード面の取り扱いとして情報機器の USB ポートの施錠を行っています。
また、長居 SC と舞洲 SC の両館でのデータ交換は職員が持参する方法で同日内に交換をしています。
- ⑦ 個人情報の開示・訂正の申し出に対しては、本人確認のうえ情報を開示する、また訂正等の求めに理由があれば、必要な措置を講じる対応をとることとしています。

（5）苦情受付体制の取組

（ア）苦情受付システムの掲示

利用者の利益を保護し、その権利を擁護するために協会の苦情解決事業に基づき、苦情対応体制を整え、受付システムをセンター内に掲示しています。

（イ）ご意見箱の設置

長居に「ご意見箱」、舞洲「アミティ BOX」を設置し、ご意見・ご要望の把握をしました。また「ありがとう BOX」も設置し、利用者からのセンター運営や職員等への要望だけに留まらず、日ごろ感じておられること、またセンターへの応援メッセージをもいただくようにしました。利用者の皆様の声に回答を付して館内掲示にて利用者へ周知しました。利用者から寄せられる苦情等については、根本的な原因を把握し、その場限りの対応とならないよう、また「トラブル」ではなく「改善へのご提案」と捉え、再発防止をふまえて迅速に対応するよう努めました。

（6）障がい者虐待防止への取組

虐待防止については、当協会の「虐待防止対応規程」に沿って施設長を虐待防止責任者として、職員を人権研修に参加させ、職員会議の場において虐待防止の徹底について注意喚起をしています。センターにおける利用者虐待を未然に防止するために作成した「障がい者虐待防止マニュアル」に基づき、毎月、「職員セルフチェックリスト」により自己検証を行うとともに、発見の報告について明確化しています。

また、障がい者差別防止や障がい特性を踏まえた合理的配慮の確保にも努めています。

（7）事故防止対策の取組（危機管理）

センターに「安全管理委員会」「環境衛生委員会」を設置し、同分野における日常の安全管理と緊急時の利用者の安全確保、および非常災害時の安全管理マニュアルを整備しています。火災・地震等の緊急時対応については、利用者・職員の身体・生命の安全確保を第一として、行政区ごとに作成された防災マニュアルを職員に配布、また所轄の消防署等との消防訓練・避難訓練等には利用者に参加していただくなど、組織的に取り組みました。

その他、日頃から不審者の入館等での警察等関係機関との協力・連携体制の確保に努め、館内の

有事の際には迅速かつ適切な対応ができるよう職員の共通理解と施設内体制の構築に努めています。

(ア) 自然災害等の緊急時対応

- ① 災害発生時に利用者の安全を確保するため、定期的に施設・設備等の安全点検を行いました。
- ② 台風接近時や豪雨発生時、地震発生時には、テレビ等の報道やインターネットによる防災情報の収集に努め、利用者等の安全確保に努めています。

(イ) 火災訓練(避難訓練・防災訓練)等の実施

- ① 長居 SC では、避難訓練(通報訓練、消火・避難誘導訓練)を実施しました
- ② 舞洲 SC では、此花消防署との合同訓練(夜間を想定した避難誘導訓練)を実施しました。
- ③ 舞洲 SC では、震度 6 クラスの地震が発生し、火災へとつながったことを想定した避難訓練を実施しました。

(ウ) 安全管理(事故防止等安全対策)

- ① 日頃から館内、屋外の安全を確保や施設の危険箇所の把握に努めました。
- ② 館内に不審者が立ち入った場合など緊急時に備え、随時館内巡回を行うこととしています。
- ③ 施設・設備およびスポーツ用具、器具等の日常及び定期的な安全点検は、事故を防止するための留意点を記載した点検チェックシート方式で毎月実施しました。異常があれば直ちに使用禁止の措置をとり、修繕依頼をするなどの対応を取りました。
- ④ 館内に自動血圧計を設置し、利用者に健康チェックをしていただくことで自分に合ったスポーツ活動を促しました。
- ⑤ スポーツ教室の実施に際しては、受講者への安全を第一としてスタッフの体制、スケジュールを組みました。
- ⑥ 夏季に屋外運動場を利用する方の熱中症予防のため、職員が定期的に暑さ指数(WBGT)の測定を行い、暑さ指数が 31.0℃以上になった場合は利用を一時休止しました。
- ⑦ 「ヒヤリハット」の事例では、すぐさま職員ミーティングの場で、また両センターでメール等で情報を共有し、事故防止に努めました。
- ⑧ 利用者の障がい特性に配慮しながら、利用の仕方やスポーツ用具・機器の使用方法などについて、ルールの徹底を図りました。
- ⑨ 平素から AED(自動体外式除細動器)の自主研修を実施するとともに、AED 機器の作動確認および消耗品のチェックを点検表に基づき毎月実施し、消耗品の補充、器具の交換を行いました。
- ⑩ 大阪消防振興協会が実施する上級救命講習を計画的に受講しました。
- ⑪ 舞洲 SC では、安全運転管理者を選任し、安心・安全な送迎を心掛けています。

(エ) 衛生管理(感染症予防対策 他)

① 感染症予防対策

i) 共通の取り組み

「感染予防ガイドライン」の順守、検温器・消毒液の設置、他。

ii) 各センターの取り組み

長居 SC： 館内の体育施設を中心とした抗菌・抗ウイルス施工、各更衣室に天井付

空気清浄機を設置、プール更衣室内シャワーの仕切り板設置。

舞洲 SC： 各スポーツ施設の自然換気の実施や空気清浄機の設置。各エレベーターのボタンに抗菌シール貼付。

- ② プールの水質管理では、日常の「遊離残留塩素濃度の測定」体制を保持し、定期的に専門機関による水質検査を実施しました。また、毎月遊泳場（プール）水質管理等状況報告書を大阪府遊泳条場条例第 16 条に基づき保健所に提出しています。
- ③ 舞洲のレストランでは、感染症および食中毒等の防止のためマニュアルを作成し衛生管理に努めました。
- ④ 両センターでは、スポーツ施設としての安全快適な環境を保つため、専門業者による館内の消毒、空気環境測定を定期的に行いました。
- ⑤ 舞洲の宿泊施設の大浴室（気泡発生装置仕様）は、毎週の水替えと清掃を徹底し、定期的に専門機関による水質検査を実施することでレジオネラ属菌の発生を抑制しました。
- ⑥ 館内で嘔吐等があった場合には、周囲への二次感染を防ぐために、マニュアルに沿って迅速に清掃、消毒処理を行うようにしています。

（オ）総合賠償責任保険・レクリエーション保険等への加入

来館者・利用者の事故やケガ等の不測の事態に備えて、総合賠償責任保険に継続して加入しました。また、スポーツ大会やイベント開催時および屋外での事業実施時には、傷害保険に加入しました。

（カ）緊急呼出し装置

- ① 緊急呼出しボタンにかかる設備の定期点検を実施しました。
- ② 緊急呼出しボタンの呼び出しを受けると、職員が必ず現場確認を行い、必要な場合は介助等を行いました。
- ③ 舞洲では、アーチェリー場・多目的広場を利用する個人・団体に携帯型の緊急呼出しボタンを渡し、緊急時にはすぐさま指導員が駆けつけられるよう対応しました。

2 施設・設備の維持管理

（1）定期点検（建築物及び設備等の保守点検）

センター管理業務基本協定書に基づき、次のとおり各種保守点検等を実施しました。

（ア）長居障がい者スポーツセンター

- A 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・実施日）
- B 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・点検結果）
- C 設備総合自主点検
 - ① 建築設備
 - ② 電気設備 1
 - ③ 電気設備 2
 - ④ 機械設備 1
 - ⑤ 機械設備 2
 - ⑥ 消防・昇降機設備

(イ) 舞洲障がい者スポーツセンター

- A 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・実施日）
- B 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・点検結果）
- C 設備総合自主点検
 - ① 建築設備
 - ② 電気設備 1
 - ③ 電気設備 2
 - ④ 機械設備 1
 - ⑤ 機械設備 2
 - ⑥ 消防・昇降機設備

※ そのほか業者による機械設備等の保守点検報告書はDVD-Rで参照

(2) 建物・設備の改修

利用者の安全性や利便性を考慮して大阪市と協議のうえ、建物、設備修繕を行っています。感染症対策として空調設備の改修の他、水道・空調設備等の給水管の改修工事、利用者への安全対策などの改修工事を実施しました。

■ 長居障がい者スポーツセンター 改修・修繕一覧

内 容	理 由
本館 1 階体育室裏膨張タンク配管工事	故障のため
本館館長室エアコン取替工事	動作不良のため
地下機械室No2 号ボイラ主蒸気配管修繕工事	蒸気漏れのため
屋外プール人工芝	経年劣化のため
GHP チラー室外機 No.1、No2 の部品交換作業	経年劣化のため
本館 1 階体育室機械室照明器具取替工事	動作不良のため
プール用温水ボイラーの部品交換作業	経年劣化のため
屋外スピーカーの配線取替工事	経年劣化のため
別館小体育室電動シャッターの部品交換工事	経年劣化のため
地下 1 階軟水器の更新工事	本体経年劣化のため
本館 2 階プール観覧席の自動ドア装置一式取替工事	経年劣化による動作不良のため
地下機械室冷却水配管の水漏れ修理工事	漏水のため
本館プール室暖房用蒸気コイルの整備工事	不備不具合解消のため
屋外北側スロープタイル貼替工事	経年劣化のため
本館 1 階体育室放送室エアコン取替工事	動作不良のため
本館 1 階プール女子シャワー室水栓金具 3 台取替工事	漏水のため
本館 1 階医務室エアコン取替工事	故障のため

本館 1 階プール男子更衣室洗面器修繕工事	蒸気漏れのため
本館 2 階男子トイレ個室（手前側、奥側）内便器等取替工事	経年劣化のため
本館 2 階男子トイレ洗面器（1 番奥側）修繕工事	詰り解消のため
本館 1 階女子トイレ個室（左側 1 番奥）自動洗浄ユニット取替工事	動作不良のため
本館 2 階女子トイレ洗面器（奥から 3 番目）修繕工事	故障のため
本館地下機械室親時計取替工事	故障のため
本館 1 階卓球室硝子割れ取替工事	破損による取替のため
バス駐車場の LED 照明更新・コンセント増設工事	経年劣化および故障のため

■ 舞洲障がい者スポーツセンター 改修・修繕一覧

内 容	理 由
エレベーター（5 号機）の 5 階乗場ドアリンク交換	経年劣化及び利用者の安全確保のため
アリーナ横女子更衣室用混合シャワー水栓の修繕	経年劣化による動作不良のため
車路側溝用グレーチングの修繕	経年劣化による変形のため
ジャグジープール用階段の修繕	経年劣化による部品交換のため
プール用女子トイレ前通路天井内の漏水修繕	経年劣化による配管腐食のため
プール可動床タイルの修繕	経年劣化及び利用者の安全確保のため
外灯 LED 更新工事	経年劣化による絶縁不良のため
自動扉修繕（2F アリーナ北側、1F 駐車場内側）	経年劣化による部品交換のため
アリーナ女子更衣室用空調ドレン配管の修繕	経年劣化による配管腐食ため
アリーナ用センターネット巻取りウインチの交換	経年劣化による動作不良のため
B S 放送用アンテナのケーブル交換	経年劣化による動作不良のため
プールサイド壁面タイルの貼替	経年劣化及び利用者の安全確保のため
防犯カメラ用モニター更新および防犯カメラ増設	経年劣化による動作不良および防犯対策のため
1 階～2 階共用部の LED 更新工事	経年劣化による照度低下のため
アリーナ男子トイレ用便器センサー修繕	経年劣化による動作不良のため

（3）経費縮減に対する取組

- ① 会議録をメールや共有ファイルで回覧し、ペーパーレス化を推進しました。
- ② 資源ゴミ（ダンボール、シュレッダー屑、金属等）をまとめておき、有償回収を依頼してゴミ処理代を縮減しました。
- ③ 空き缶、ペットボトルは、自動販売機設置業者に無償回収を依頼しています。
- ④ 利用団体が出したゴミ（弁当殻、ペットボトル、ダンボール等）は、持ち帰っていただいています。
- ⑤ 屋外の水銀灯や館内の照明器具を、順次、LED 照明器具に交換しています。

■ 長居障がい者スポーツセンター

	令和5年度 総使用量	令和6年度 総使用量	令和7年度 総使用量
電 気	873,439 kwh	857,431 kwh	851,208 kwh
ガ ス	188,656 m ³	199,331 m ³	199,722 m ³
水 道	13,621 m ³	13,277 m ³	14,824 m ³

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

	令和5年度 総使用量	令和6年度 総使用量	令和7年度 総使用量
電 気	2,796,736 kwh	2,836,749 kwh	2,452,848 kwh
ガ ス	294,894 m ³	267,274 m ³	276,290 m ³
水 道	27,924 m ³	32,310 m ³	26,469 m ³

(4) 環境への取組

環境問題への取り組みについては、大阪市庁内環境管理計画を基準にして、以下の取り組みを行いました。

- ① 廃棄物排出量を抑制するため、ゴミの分別に取り組みました。
- ② 資源リサイクル（ペットボトルキャップ）による温暖化対策等に取り組みました。
回収したキャップは、これまで「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」の支援活動への寄付から、令和7年7月より「大阪の街をよくする基金ライフキャップ運動」の環境・教育・文化・医療などに役立てる地域貢献活動への支援に取り組みました。
- ③ 空調のフィルターの定期的な清掃に取り組みました。
- ④ 照明器具を順次 LED 器具に交換に取り組みました。

3 利用状況

(1) 開館日数

長居障がい者スポーツセンター	297 日
舞洲障がい者スポーツセンター	300 日

(2) 利用人数（延べ人数）

長居 SC		251,181 人（前年度 235,816 人）
舞洲 SC		152,387 人（前年度 154,001 人）
内 訳	スポーツ施設	135,215 人（前年度 138,669 人）
	宿泊研修施設	17,172 人（前年度 15,332 人）
合 計		403,568 人（前年度 389,817 人）

(3) 使用料・利用料

【スポーツ施設 使用料】

長居 SC	529,600 円 (前年度 591,330 円)
舞洲 SC	1,354,690 円 (前年度 1,481,400 円)

【宿泊研修施設 利用料】

舞洲 SC「宿泊研修施設」	48,368,300 円 (前年度 37,871,000 円)
---------------	---------------------------------

(4) 利用状況（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

「いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」という基本方針のもと、専門知識やスキルを有する指導員が、障がいの種別やスポーツの習熟度に応じて指導を行い、スポーツを通じて障がい者の自立と社会参加の促進に取り組んでいます。

長居のラウンジについては、利用者の飲食や交流・いこいのスペース、クリスマス等の季節に応じたイベント会場として活用しました。

また、舞洲の宿泊施設においては、大阪・関西万博の開催による影響も背景に、宿泊者数が増加しました。さらに、支援学校の修学旅行や各種スポーツ競技団体による利用も伸びており、全体として昨年度と比較して一割強の増加となっています。

■ 長居障がい者スポーツセンター

《スポーツ施設》

(単位：人)

		プール	体育室	ボウリング室	その他	延人数	実人数
個人使用	視 覚	1,773	37	1,343	6,431	9,584	5,861
	聴 言	392	44	1,583	2,672	4,691	2,331
	肢 体	5,623	660	2,964	17,331	26,578	16,068
	内 部	439	8	694	1,813	2,954	1,493
	知 的	11,660	2,110	19,859	30,419	64,048	33,091
	精 神	3,106	377	6,252	14,060	23,795	11,533
	その他	1,488	160	2,239	3,621	7,508	4,296
	介護人等	12,086	1,351	8,579	25,492	47,508	30,582
	計	36,567	4,747	43,513	101,839	186,666	105,255
団体使用	障がい者	4,913	13,450	2,075	20,803	41,241	30,421
	介護人等	2,706	6,260	889	13,419	23,274	18,099
	計	7,619	19,710	2,964	34,222	64,515	48,520
合計		44,186	24,457	46,477	136,061	251,181	153,775

新規利用者数 653 人

※ 開館日数 297 日

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

《スポーツ施設》

(単位：人)

		プール	アリーナ	ボウリング室	その他	延人数	実人数
個人使用	視 覚	481	0	66	710	1,257	745
	聴 言	72	6	237	187	502	229
	肢 体	2,925	303	916	6,811	10,955	6,639
	内 部	78	0	409	268	755	263
	知 的	7,287	275	12,451	16,870	36,883	16,802
	精 神	1,020	47	2,944	2,664	6,675	2,335
	その他	482	53	795	1,714	3,044	1,870
	介護人等	9,760	587	8,297	16,242	34,886	20,422
	計	22,105	1,271	26,115	45,466	94,957	49,305
団体使用	障がい者	3,707	12,945	1,133	6,504	24,289	19,548
	介護人等	2,374	8,243	656	4,696	15,969	12,388
	計	6,081	21,188	1,789	11,200	40,258	31,936
合計		28,186	22,459	27,904	56,666	135,215	81,241

新規利用者数 247 人

※ 開館日数 300 日

《宿泊・研修施設》

	宿泊 (※1)	休憩	研修 (※2)	大広間	合計 (単位：人)	歳入額 (単位：円)
令和2年度	2,657	940	1,719	170	5,486	15,236,850
令和3年度	2,091	482	1,837	313	4,723	9,423,200
令和4年度	4,820	732	3,207	1,178	9,937	22,186,500
令和5年度	7,918	925	4,132	1,614	14,589	36,178,500
令和6年度	8,587	868	4,221	1,656	15,332	37,871,000
令和7年度	10,894	783	3,760	1,735	17,172	48,368,300

※1 客室 27 室 (定員 81 名)

※2 研修室Ⅰ (定員 50 名)、Ⅱ (定員 20 名)、Ⅲ (定員 30 名)

4 実施事業

(1) それぞれのニーズやレベルに応じたスポーツ・レクリエーションの提供

(ア) スポーツ教室開催

障がい者とその家族・友人がスポーツやレクリエーション活動に親しみ、健康で豊かな生活を送っていただく機会の提供を目的として、テーマ別に各種スポーツ教室を実施しています。

長居は 22 教室、舞洲は 18 教室を開催しました。

■ 長居障がい者スポーツセンター

定例のスポーツ教室（4月～3月）	実施回数	参加人数 (延)
はじめよう教室 (アーチェリー、車いすバスケボール、柔道、水泳、ゴルフ、ボウリング)	51回	433人
めざせ全スガ教室 (知的バレーボール、ボッチャ)	30回	618人
技術習得教室 (アーチェリー、パラブレイキン、車いすバスケットボール入門)	50回	528人
リハビリ教室 (ゆったり健康運動、知的障がい者のサッカー)	9回	121人
健康づくり教室 (精神障がい者のフットサル、ラン run ラン)	35回	1,006人
レクリエーション教室 (みんなで楽しもうミュージック・ケア、リズムでからだを動かそう)	20回	2,070人
キッズ教室 (水泳メダカ・トビウオ、キッズからだづくり、キッズミュージック・ケア)	31回	482人
デジタル教室 (はじめようデジスポゲームでスポーツやってみよう！)	1回	13人
計	227回	5,271人

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

定例のスポーツ教室（4月～3月）	実施回数	参加人数 (延)
技術習得教室 (プールワンポイントレッスン、はじめよう!!バレーボール、はじめよう!!バドミントン)	74回	276人
機能向上教室 (重度身体障がい者の運動～プール編～、重度身体障がい者の運動～陸上編～)	10回	125人
健康維持教室 (目的別トレーニング、目的別トレーニング (プール))	22回	41人
レクリエーション教室 (Let'sスポーツ、グループ)	110回	879人
ジュニアスクール教室 (水泳メダカ、水泳トビウオ (幼児・小学生)、水泳トビウオ (中高生)、水泳バレー、卓球、ボッチャ、フットサル、車いすバスケボール、ジュニア体験会)	69回	1,736人
計	285回	3,057人

※ 1～3月の期間、プール可動床等に不備があったため、該当期間のプールワンポイントレッスン、目的別トレーニング (プール)、ジュニアスクール水泳各種は中止。

(イ) スポーツ・レクリエーション事業、文化・交流事業の実施

日頃の成果を試す場として、また障がいの有無を問わず共に競技する場として各種スポーツ大会を開催するとともに、仲間づくりや健康の増進、スポーツの生活化を進めるためのレクリエーションや文化活動を企画し開催しました。さらに、地域との交流や利用者相互の交流の場として交流事業を実施しました。

i) -1 スポーツ・レクリエーション事業＜長居＞

事業名	開催日等	参加人数(実)
ビームライフル射撃交流大会	令和7年9月7日(日)	36人
アンリミテッドアーチェリー大会	令和8年3月15日(日)	24人

パラブレイキン発表会	令和8年3月29日(日)	94人
------------	--------------	-----

i)ー2 スポーツ・レクリエーション事業＜舞洲＞

事業名	開催日等	参加人数(実)
ヨット体験会(4月)	令和7年4月6日(日)	43人
舞洲スポーツアイランド 満喫ツアー (BBQ)	令和7年6月15日(日)	15人
遊びのひろば	令和7年6月21日(土)、 7月31日(木)、8月16日(土)、9 月20日(土)、12月24日(水)、令 和8年1月17日(土)、2月7日 (土)	662人
大阪・関西万博体験ツアー	令和7年7月11日(金)	10人
舞洲スポーツアイランド 満喫ツアー (プロ野球試合観戦)	令和7年7月27日(日)	13人
2025 大阪市ふれあい水泳大会	令和7年9月23日(火・祝)	295人
ヨット体験会(10月)	令和7年10月19日(日)	40人
2025 まいしまチャレンジ卓球大会	令和7年11月24日(月・祝)	55人
2025 アミティカップ バスケットボール3x3大会	令和7年12月21日(日)	94人
舞洲スポーツアイランド 満喫ツアー (プロバスケットボール試合観戦)	令和8年1月25日(日)	6人

ii)ー1 文化・交流事業＜長居＞

事業名	開催日等	参加人数(延)
第51回夏まつり(盆おどり大会)	令和7年8月23日(土)	2,130人
2025 ENJOY! 長居フェスティバル	令和7年10月5日(日)	983人
第52回クリスマスのつどい	令和7年12月14日(日)	928人
2026 こどもフェスティバル	令和8年3月8日(日)	61人
ゲームプログラミングジム こどもプロダクション	令和7年6月～12月 (3期 計15回)	258人

ii)ー2 文化・交流事業＜舞洲＞

事業名	開催日等	参加人数(延)
創作活動	令和7年6月29日(日)、7月19日 (土)、11月1日(土)、12月7日 (日)、12月13日(土)	83人
納涼花火イベント	令和7年8月22日(金)	377人
夏休み映画上映会	令和7年8月9日(土)～11日(月・ 祝)	65人
2025 アミティフェスティバル	令和7年11月15日(土)	350人
2026 新年のつどい	令和8年1月11日(日)	840人
大阪マラソン“クリーンUP”作戦	令和8年2月4日(水)	4人

春休み映画上映会	令和8年3月27日(金)～29日(日)	75人
----------	---------------------	-----

(ウ) スポーツクラブの育成と支援

スポーツを通じての仲間づくり、技術の向上、自主的なスポーツ活動の場として公認スポーツクラブの育成と活動支援を行いました。

【両スポーツセンター公認クラブ数及び登録者数】

- ・長居公認クラブ 12 クラブ（登録者数： 408 名）
- ・舞洲公認クラブ 11 クラブ（登録者数： 232 名）

(エ) 出張スポーツ・レクリエーション事業

障がい者が身近な地域で、スポーツやレクリエーションを楽しむことができるように、音楽を使った体操や軽スポーツ等、「スポーツ・レクリエーションひろば」を市内14区で23回開催しました。

また、各区役所によるパラスポーツ振興の取り組みの協働・協力、各区役所における子育てカウンセリング事業（運動サポート）、「各種障がい者スポーツ研修会」、「小中学校での車いすバスケットボール体験学習」等）に対して、指導員の派遣やアドバイス、用具の貸出等の協力や支援を行いました。

(2) 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成

(ア) ボランティアの育成

スポーツ教室やスポーツ・レクリエーション、各種大会等の開催など、センター事業への協力を通じて、ボランティアの育成を行いました。

(イ) 実習生の受け入れ

学生のインターンシップ実習、教員の新任研修、中学校からの職場体験学習を受け入れました。

- ・長居： 実習生・研修生 7件 22名
- ・舞洲： 実習生・研修生 3件 65名

(ウ) 中級パラスポーツ認定校の学生を対象とした企画

中級パラスポーツ指導員認定校と連携しながら、次世代のパラスポーツ指導者の育成と障がい者のスポーツの裾野を広げることを目的に、「一緒にパラスポーツイベントを企画しよう！！」を実施しました。

- ・参加校：3大学（参加者数：12名）

(3) 障がい者のスポーツに関する普及・啓発

(ア) 障がいの理解講座

障がい者のみならず、その家族・介助者等、日々、障がい者と関わっている周囲の人たちを対象に、障がいの理解及びスポーツとの関わり方について学んでいただくため「障がいの理解講座」を開催しました。

講 座 名	開催日	受講者数
人工関節手術後だから努めてほしい生活習慣	11月24日(月・祝)	65人

(イ) SNS を活用した情報発信

大会やイベントなどの各種事業や教室開催の募集開始時期を踏まえながら、SNS（主にLINE）を活用した積極的な広報活動を展開しました。

- ・LINE（ライン）による開催案内
- ・YouTube（ユーチューブ）による開催案内や事業報告など（配信中の動画 71 本）

(ウ) 小中学校における障がい者のスポーツ体験授業への職員派遣

学校からの体験授業に関する相談や要請に対して、車いすバスケットボールやボッチャ等のパラスポーツ競技を紹介するとともに、指導員を派遣し、競技団体や公認クラブと連携して授業実施の支援を行いました。また、パラスポーツ用具等の貸し出しなども行い、障がい者のスポーツを体験することを通じて障がい者と障がい者スポーツの理解の促進に努めました。

(4) 発達障がい者支援センター・職業リハビリテーションセンターとの連携

法人内施設と連携し、就労をめざす発達障がい者、知的障がい者等を対象に、ストレッチ・ボッチャ・軽スポーツ等の体験を行うことによって、精神的安定を図り、自主的な運動につなげるよう支援を行いました。

(5) 各種相談の実施

より効果的にスポーツ活動に取り組んでいただけるようにするため、各種相談事業を実施しました。

医事相談(長居) 13 件、リハビリ相談(長居) 22 件、スポーツ相談(舞洲) 9 件、パーソナルトレーニング(長居) 5 件(延べ 121 回)

(6) 広報

- ①「スポーツセンターだより」の発行（年 4 回）
- ②掲示板、館内設置モニターの活用
- ③利用カレンダーの配布
- ④ホームページによる情報提供

体育室（長居）とアリーナ（舞洲）の予約状況、各種事業や教室の開催案内などを掲載し、手軽に確認できるようにしています。

- ⑤SNS を活用した情報発信（再掲） LINE・YouTube での情報提供

(7) その他の取組

(ア) 利用者アンケートの実施

- ・期 間：令和7年7月15日(火)～令和7年8月31日(日)
- ・方 法：アンケート用紙及びインターネットにより回答
- ・回答数：長居 SC 計 368 件（内訳 用紙回答 192 件 WEB 回答 176 件）
舞洲 SC 計 179 件（内訳 用紙回答 29 件 WEB 回答 150 件）
合計 547 件（昨年 471 件）
- ・結 果：利用者の皆様から両センターとも総合的に高い評価をいただきました。
長居 「満足」64% 「やや満足」30% 計94%
舞洲 「満足」70% 「やや満足」22% 計92%

(イ) 大阪市障がい者スポーツセンター運営委員会の開催

両センターの利用者満足度の向上を図るため、障がい者団体、クラブ代表者、学識経験者、ボランティア代表者、スポーツ団体代表者等の委員13名で構成する運営委員会を開催し、利用者アンケートの結果を踏まえて、利用者サービスのあり方や利用者拡大についてのご意見をいただきました。

開催日：第1回 令和7年10月11日(土) 於：長居 SC
第2回 令和8年3月7日(土) 於：舞洲 SC

(ウ) 各種委員会活動

安全・環境衛生・情報の管理、利用者満足度向上の観点から、委員会活動を実施しました。

① 安全管理委員会

防災点検、AED 定期点検、スポーツ器具安全点検、
防災訓練・避難訓練（両センター：年2回）、
大阪880万人訓練（舞洲15名）、
救急救命訓練（CPR含む）（長居23名・舞洲23名）
防災・減災オンライン講座（舞洲30名）

② 環境衛生管理委員会

ボトルキャップ・プルタブ回収、資源ごみの分別回収の実施

③ 情報管理委員会

受付サーバー機セキュリティチェック、メールアドレスの管理

④ サービスマナー向上委員会

セルフチェックシート、虐待防止チェックシートの活用

⑤ 研修委員会

人権研修（長居26名、舞洲19名）
外部研修（長居24名、舞洲40名）
[安全管理・施設管理・障がい者スポーツ指導員資格・人材育成など、計画に基づく受講の推奨及び調整]

(エ) 経費縮減の取組

利用者の安全確保を優先として職員の効率的配置を行い、管理運営経費の縮減に努めました。

(オ) 感染症予防対策

安心してご利用していただけるよう、各箇所における手指消毒器、空気清浄器の設置など、感染症予防対策を継続しました。

(カ) 長居ラウンジ

利用者の飲食や交流・いこいのスペース、クリスマス等の季節に応じたイベント会場として活用しました。

(キ) 地域や他施設との連携、各種関連団体との協働

両センターの事業を通じてスポーツ振興を図るため、周辺の地域や近隣施設・各種関連団体との信頼関係をさらに深め、情報交換や事業協力など連携に努めています。

(これまでの主な取り組み)

- ・大阪市役所
熱中症特別警戒情報発表時 クーリングシェルターとして協力【長居 SC】【舞洲 SC】
- ・東住吉区役所、此花区役所
自立支援協議会への参加、協力【長居 SC】【舞洲 SC】
区民まつりへの参加、協力【舞洲 SC】
災害時の福祉避難所（舞洲 SC 2 階「会議室」）【舞洲 SC】
此花区保健福祉センター 新規採用者（ケースワーカー）等研修【舞洲 SC】
東住吉区わくわくスタンプラリー対象施設【長居 SC】
此花区保健福祉センター新採職員研修【舞洲 SC】
- ・此花区社会福祉協議会
社会福祉施設連絡会、社会福祉大会への参加、協力
地域福祉アクションプラン「プルトップ」回収事業
- ・長居公園管理運営協議会への参加【長居 SC】
- ・株式会社セレッソ大阪、わくわくパーククリエイティブ株式会社（精神障がい者のフットサル教室を協力して開催）
- ・大阪市環境事業局（大阪マラソン“クリーン UP”作戦に参画）【舞洲 SC】
- ・大阪北港ヨットマリーナ&北港ヨットクラブ（障がい者ヨット体験教室）【舞洲 SC】
- ・スポーツ庁・日本パラスポーツ協会（J-STAR プロジェクト）【長居 SC、舞洲 SC】
- ・大阪中央ロータリークラブ（新年のつどい）【舞洲 SC】
- ・第 63 回大阪市中学校特別支援学級 特別支援学校 生徒作品展【舞洲 SC】
- ・第 11 回大阪市中学校特別支援学校ふれあいデイキャンプ【舞洲 SC】

5 自主事業

(1) ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設機能強化事業の実施

舞洲は、平成 28 年 7 月に国からボッチャ競技における「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設」の指定を受けており、引き続き日本ボッチャ協会との連携による指定強化選手や次世代育成選手を対象とした強化合宿や強化練習会などのサポートに取り組みました。（文部科学省受託事業）

（強化練習日）70 日 （参加者数）1,123 人

(2) 2026 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会(大阪カップ)の開催

4 か国からナショナルチームを招聘し、各国のトップアスリートによる親善競技大会を開催しました。

会場では、車いすバスケットボールチャレンジコーナーや体験会などを通して、車いすバスケットボールを楽しんでもらいながら、国際交流と障がい者への理解を広げることができるよう取り組みました。

また、会場に来れない方にも大会の魅力を知ってもらうため全試合のライブ配信中継も行いました。

- ・開催日：令和 8 年 2 月 20 日(金)～令和 8 年 2 月 22 日(日)

- ・会場：Asue アリーナ大阪（大阪中央体育館）

- ・内容：オーストラリア、ドイツ、タイ、日本の 4 か国が参加。

日本車いすバスケットボール連盟の YouTube チャンネルで全試合配信。

メインアリーナの試合のみライブ配信。（視聴回数：11,359 回）

- ・観戦者数：7,678 人

(3) レストラン、契約貸ロッカー及び自動販売機等の設置・管理運営

利用者の利便性を高めサービス向上を図るため、センターでは、貸ロッカーや自動販売機等を設置しています。

レストラン（舞洲 SC）では、安全・安心できるレストラン運営に取り組み、アレルギーや嚥下障がいの方への対応食も提供するなど、サービス向上に努めました。

長居では、ラウンジスペースの一部を貸与し、事業者からお弁当等の飲食物を販売しました。

（販売事業者）

平日：特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご

土日祝日：合同会社 SHARE&DESIGN ス克蘭ブル C A F E

(4) パラスポーツ備品貸出事業

地域での障がい者のスポーツ活動をより一層普及・促進させるため、パラスポーツの備品を貸出事業を行いました。

有料での貸出は大阪市内営利団体及び大阪市外の団体とし、大阪市内の非営利団体には、無償で貸出対応を行いました。

6 収支決算状況

(1) 令和7年度 センターの指定管理業務収支報告書

(単位:円)

	予算	決算	差異
受託事業収入	656,205,000	654,574,554	▲ 1,630,446
業務代行料	650,990,000	650,990,000	0
その他の収入	5,215,000	3,584,554	▲ 1,630,446
経常経費寄附収入	0	243,710	243,710
その他の収入	43,328,000	53,413,280	10,085,280
宿泊利用料収入	100,000	217,984	117,984
雑収入	122,000	178,651	56,651
拠点繰入金収入	190,000	190,000	0
収入合計(A)	699,723,000	708,421,544	8,698,544
人件費支出	323,861,522	310,193,958	▲ 13,667,564
事業費支出	144,844,729	134,184,765	▲ 10,659,964
事務費支出	207,111,153	237,717,113	30,605,960
拠点繰入金支出	23,831,000	23,802,354	▲ 28,646
予備費	74,596	0	▲ 74,596
支出合計(B)	699,723,000	705,898,190	6,175,190
収支差(C=A-B)	0	2,523,354	2,523,354

(2) 令和7年度 センターの指定管理業務収支報告内訳表

(単位:円)

	決算額 (総計)	決算額				
		目的事業			自主事業	
		長居障がい者 スポーツセンター	舞洲障がい者 スポーツセンター	宿泊部門	長居障がい者 スポーツセンター	舞洲障がい者 スポーツセンター
受託事業収入	654,574,554	292,796,600	358,492,760	-	-	3,285,194
業務代行料	650,990,000	292,732,000	358,258,000	-	-	-
その他の収入	3,584,554	64,600	234,760	-	-	3,285,194
経常経費寄附収入	243,710	40,000	203,710	-	-	-
その他の収入	53,413,280	159,984	126,651	48,456,169	2,385,632	2,284,844
受入研修費収入	217,984	118,984	99,000	-	-	-
税法上の収益事業収入	53,016,645	-	-	48,456,169	2,275,632	2,284,844
雑収入	178,651	41,000	27,651	-	110,000	-
固定資産売却収入	-	-	-	-	-	-
拠点繰入金収入	190,000	90,000	100,000	-	-	-
収入合計(A)	708,421,544	293,086,584	358,923,121	48,456,169	2,385,632	5,570,038
人件費支出	310,193,958	152,025,973	135,534,827	22,633,158	-	-
職員給料支出	148,110,484	78,737,908	69,372,576	-	-	-
職員賞与支出	35,904,599	18,264,248	17,640,351	-	-	-
非常勤職員給与	79,219,365	31,347,635	27,437,560	20,434,170	-	-
派遣職員費支出	5,240,742	2,630,009	2,610,733	-	-	-
退職給付支出	5,568,820	2,794,720	2,774,100	-	-	-
法定福利費支出	36,149,948	18,251,453	15,699,507	2,198,988	-	-
事業費支出	134,184,765	48,322,869	79,836,730	4,990,072	9,920	1,025,174
医薬品費支出	14,269	14,269	-	-	-	-
保健衛生費支出	331,529	331,529	-	-	-	-
教養娯楽費支出	924,075	-	924,075	-	-	-
水道光熱費支出	117,004,896	39,705,250	71,657,300	4,990,072	-	652,274
消耗器具備品費	8,316,305	6,911,428	1,022,057	-	9,920	372,900
保険料支出	34,691	11,674	23,017	-	-	-
賃借料支出	85,000	85,000	-	-	-	-
修繕費支出	1,196,929	961,734	235,195	-	-	-
車両費支出	5,948,598	199,614	5,748,984	-	-	-
雑支出	328,473	102,371	226,102	-	-	-
事務費支出	237,717,113	80,841,563	130,384,498	21,081,943	1,156,053	4,253,056
福利厚生費支出	410,602	143,156	199,117	68,319	-	-
職員被服費支出	595,320	484,330	110,990	-	-	-
旅費交通費支出	615,229	464,459	87,410	-	-	63,360
研修研究費支出	139,120	64,000	75,120	-	-	-
事務消耗品費支出	7,768,655	2,508,304	2,714,161	2,346,953	199,237	-
印刷製本費支出	14,490	-	-	-	14,490	-
水道光熱費支出	28,768,326	9,983,233	18,557,412	-	227,681	-
修繕費支出	10,349,274	10,199,504	52,150	97,620	-	-
建物修繕料支出	26,276,955	-	20,539,795	5,737,160	-	-
通信運搬費支出	2,430,930	677,698	1,332,739	420,493	-	-
広報費支出	1,926,471	716,540	659,931	-	550,000	-
業務委託費支出	119,145,592	40,928,910	72,572,302	4,544,380	-	1,100,000
手数料支出	16,185,990	5,364,554	7,126,580	3,681,331	1,045	12,480
保険料支出	974,537	428,409	338,998	207,130	-	-
賃借料支出	2,649,191	717,914	805,754	1,068,257	-	57,266
租税公課支出	3,563,820	103,820	124,300	2,860,300	141,200	334,200
保守料支出	1,473,102	672,000	801,102	-	-	-
報償費支出	14,214,595	7,260,108	4,246,337	-	22,400	2,685,750
諸会費支出	90,300	-	40,300	50,000	-	-
雑支出	124,614	124,614	-	-	-	-
拠点繰入金支出	23,802,354	11,256,480	12,444,320	-	-	101,554
支出合計(B)	705,898,190	292,446,885	358,200,375	48,705,173	1,165,973	5,379,784
収支差(C=A-B)	2,523,354	639,699	722,746	▲ 249,004	1,219,659	190,254